

# 本書の構成

---

## 本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための留意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお読みください。

本書をお読みになる前に

---

## 第1章 ご購入後の操作

お買い求めいただいたワークステーションを使えるようにするための操作を説明しています。必ず本書の手順に従って操作してください。

1

ご購入後の操作

---

## 第2章 快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法などについて説明しています。

2

快適にお使いいただくために

---

## 第3章 リカバリとインストール

本ワークステーションをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明します。

3

リカバリとインストール

---

## 第4章 困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

4

困ったときに

---

## 第5章 技術情報

ファイルシステムの変換方法や留意事項などについて説明しています。

5

技術情報

# 目次

本書をお読みになる前に .....	4
お問い合わせ一覧 .....	4
本書の表記 .....	5

## 第1章 ご購入後の操作

1 セットアップ .....	10
Windows NT セットアップ .....	10
2 ユーザー登録とバックアップ .....	14
ユーザー登録を忘れずに .....	14
リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー (CELSIUS 650 のみ) .....	14
ドライバのバックアップ .....	15
3 プレインストール仕様 .....	17
ソフトウェア一覧 .....	17
ドライブ構成 .....	19

## 第2章 快適にお使いいただくために

1 コンピュータウイルス対策 .....	22
VirusScan .....	22
コンピュータウイルスを発見した場合 .....	23
コンピュータウイルスの被害届け .....	23
2 画面を設定する .....	25
Matrox Millennium G400 (Dual Head を含む) 搭載モデルの場合 .....	25
Matrox Millenium G400 (Dual Head を含む) 以外を 搭載するモデルの場合 .....	27
3 ネットワークを設定する .....	29
ネットワークの設定 .....	29
4 Power MANagement for Windows .....	30
PMAN の機能 .....	30

## 第3章 リカバリとインストール

---

<b>1 リカバリ</b> .....	34
リカバリの概要 .....	34
リカバリ方法 .....	35
ハードディスクの領域を設定する .....	37
<b>2 ソフトウェアのインストール</b> .....	39
操作に必要なもの .....	39
ドライバのインストール .....	40
プレインストールソフトのインストール .....	54
添付ソフトのインストール .....	55

## 第4章 困ったときに

---

<b>1 こんなときには</b> .....	60
トラブル発生時の参照先 .....	60
Windows NT に関する Q&A .....	60
<b>2 それでも解決できないときは</b> .....	65
お問い合わせ前の確認シート .....	66

## 第5章 技術情報

---

<b>1 その他の留意事項</b> .....	68
<b>2 ファイルシステムの変換</b> .....	77

<b>索引</b> .....	79
-----------------	----

# 本書をお読みになる前に

## お問い合わせ一覧

本ワークステーションに添付されているソフトウェアの内容については、次の連絡先にお問い合わせください。なお、記載の情報は、2000年12月現在のものです。電話番号などが変更されている場合は、担当営業員または担当保守員までお問い合わせください。

### ● NIFTY MANAGER for Windows Version 5.12

ニフティマネジャーでの接続や操作方法について  
ニフティ株式会社 ニフティマネジャー  
サポートセンター  
9:00～21:00（指定の休日を除く）  
電話：0120-326-526

（携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）

E-mail：feedback@nifty.com

### ● NIFTY SERVE（ワークステーション通信サービス）の利用について

ニフティ株式会社 ワークステーション通信サービスセンター  
9:00～21:00（指定の休日を除く）  
電話：0120-22-1200

（携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）

E-mail：feedback@nifty.com

### ● VirusScan for Windows NT

日本ネットワークアソシエイツ株式会社  
テクニカルサポートセンター  
9:00～12:00、13:00～17:00（土日、祝祭日を除く）  
電話：03-3379-7770

### ● Adobe Acrobat Reader4.05

ソフトウェア提供会社様より無償で提供されている製品のため、ユーザーサポートはございません。  
ご了承ください。

本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。

なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件にしたがい取り扱われるものとします。

# 本書の表記

## 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
※ 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

## キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつなぎで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

## コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

diskcopy a: a:  
      ↑    ↑

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キー（キーボード手前中央にある何も書かれていらない横長のキー）を1回押してください。
- コマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。
- CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブのドライブ名を、【CD-ROM ドライブ】と表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

[CD-ROM ドライブ] :\\$setup.exe

## 画面例

本書に記載されている画面は一例です。実際に表示されるウィンドウやファイル名などとは異なる場合があります。ご了承ください。

## 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

## BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニュー やサブメニュー または項目を、「-」(ハイフン) でつなげて記述する場合があります。

例: 「メイン」メニューの「フロッピーディスク A」の項目を「使用しない」に設定します。

↓

「メイン」 - 「フロッピーディスク A」: 使用しない

## お問い合わせ先／URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や WWW の URL は 2000 年 12 月現在のものです。変更されている場合は、担当営業員または担当保守員までお問い合わせください。

## 製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

Microsoft® Windows® 2000 Professional を、Windows 2000 と表記しています。

Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System を、Windows NT 4.0 または Windows NT と表記しています。

Microsoft® MS-DOS® operating system Version を、MS-DOS と表記しています。

VirusScan for Windows NT を、VirusScan と表記しています。

NIFTY MANAGER for Windows Ver 5.12 を、NIFTY MANAGER と表記しています。

Power MANagement for Windows を、PMAN と表記しています。

Adobe® Acrobat® Reader 4.05 を、Acrobat Reader と表記しています。

## 機種名表記

本文中の機種名表記は、次のようになっています。機種名を確認してください。

機種名	本文中表記		
CELSIUS 650	CELSIUS650	[C650]	本ワークステーション ワークステーション本体
CELSIUS 650 U160W-SCSI モデル	CELSIUS650 U160W	[C460]	
CELSIUS 460	CELSIUS460	[C460]	本ワークステーション ワークステーション本体
CELSIUS 460 U160W-SCSI モデル	CELSIUS460 U160W	[C440]	
CELSIUS 440	CELSIUS440	[C440]	本ワークステーション ワークステーション本体
CELSIUS 440 U160W-SCSI モデル	CELSIUS440 U160W	[C440]	

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

VirusScan は、米国 Network Associates 社及び関連会社の商標又は登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Memo

## 第1章

# ご購入後の操作

お買い求めいただいたワークステーションを使えるようにするための操作を説明しています。  
必ず本書の手順に従って操作してください。

1	セットアップ	10
2	ユーザー登録とバックアップ	14
3	プレインストール仕様	17

# 1 セットアップ

初めて電源を入れたあとに行う Windows NT の初期設定（Windows NT セットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

## Windows NT セットアップ

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows NT セットアップを始めます。

### 留意事項

- Windows NT セットアップを行う前に、オプションを取り付けないでください（カスタムメイドオプションを除く）。正しくセットアップされないことがあります。
- Windows NT セットアップを行う前にメモリを増設しないでください。正しくセットアップされないことがあります。
- セットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うとエラーメッセージが表示される場合があります。

### セットアップ

#### 1 ディスプレイと本ワークステーションの電源を入れます。

しばらくすると、「Windows NT Workstation セットアップ」ダイアログボックスが表示され、セットアップが始まります。

#### 2 「次へ」をクリックします。

「使用許諾契約」が表示されます。

「使用許諾契約」とは、本ワークステーションにあらかじめインストールされている Windows NT を使用するうえでの契約を記述したものです。

#### 3 「使用許諾契約」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。

#### POINT

- ▶ 「同意しません」をクリックし、「次へ」をクリックすると、「…使用許諾契約に同意しないと指定しました。」と表示されます。「いいえ」をクリックすると「使用許諾契約」のダイアログボックスに戻ります。「はい」をクリックすると「致命的なエラー」ダイアログボックスが表示されるので「OK」をクリックしてください。次に表示されるダイアログボックスで「閉じる」をクリックすると、本ワークステーションが再起動します。

「名前と組織名」のダイアログボックスが表示されます。

**4 「名前」と「組織名」を入力し、「次へ」をクリックします。**

組織名は省略できます。

コンピュータ名を入力するダイアログボックスが表示されます。

**5 コンピュータ名を入力し、「次へ」をクリックします。**

「管理者アカウント」ダイアログボックスが表示されます。

**6 「パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。****POINT**

- ▶ パスワードでは大文字／小文字が区別されます。
- ▶ 「パスワード」を入力して「次へ」をクリックした場合、「戻る」をクリックして再びパスワードの設定画面に戻ることはできません。

「セットアップは終了しました」と表示されます。

**7 「完了」をクリックします。**

本ワークステーションが再起動し、「オペレーティングシステムの選択」画面が表示されます。

**8 【Enter】キーを押します。**

しばらくすると、「ログオンの開始」ダイアログボックスが表示されます。

**9 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。**

「ログオン情報」ダイアログボックスが表示されます。

**10 手順 6 で入力したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。**

「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

**11 「閉じる」をクリックします。****12 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。**

「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

**13 「コンピュータを再起動する」をクリックし、「はい」をクリックします。**

本ワークステーションが再起動します。

初めて電源を入れたあとに行うセットアップ時には、手順 14 に進みます。リカバリ後のセットアップ時には、次の操作を行ってください。

1 ログオン後、「はじめよう！ CELSIUS」アイコンをダブルクリックします。

「はじめよう！ CELSIUS」ダイアログボックスが表示されます。

2 「OK」をクリックします。

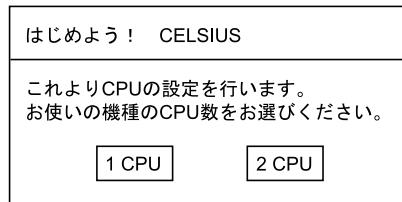
自動設定が行われ、本ワークステーションが再起動します。

## POINT

- ▶ 再起動時にハードディスクのチェックが行われますが、問題はありません。そのまま作業を進めてください。
- ▶ 搭載メモリが1GB以上2GB未満の場合、「はじめよう！CELSIUS」を実行すると「仮想メモリページングファイルサイズを正しいサイズに変更できませんでした。」と表示されます。「OK」をクリックし、以下の操作を行ってください。
  - 1 デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
  - 2 「パフォーマンス」タブをクリックし、「変更」をクリックします。
  - 3 「初期サイズ(MB)」と「最大サイズ(MB)」のサイズを次のように設定します。  
 初期サイズ:実搭載メモリに11MB足した値(例:実搭載メモリが1GBの場合は1035)  
 最大サイズ:初期サイズに50MB足した値(例:実搭載メモリが1GBの場合は1085)  
 なお、上記設定を行うには、ハードディスクに「最大サイズ」分の空き容量が必要です。選択したドライブに十分な空き容量がない場合は、別のドライブに設定を行ってください。ただし、システムドライブ以外のドライブに設定を行うと、ダンプができなくなります。あらかじめ、ご了承ください。
  - 4 「設定」をクリックし、「OK」をクリックします。
  - 5 「閉じる」をクリックします。
  - 6 メッセージにしたがって、本ワークステーションを再起動します。

ただしC650では、自動的に再起動される前に次の操作を行ってください。

- 1 「CPUの数の選択」メッセージが表示されたら、搭載しているCPUの数を確認のうえ、クリックしてください。  
 確認のメッセージが表示されます。



- 2 選択されたCPUの数を確認し、「はい」をクリックします。  
 CPUの設定が行われ、本ワークステーションが再起動します。

## 重要

- ▶ 必ず「はじめよう！CELSIUS」アイコンをダブルクリックしてください。本アイコンをダブルクリックしないと、以下の自動設定が行われません。
  - ・仮想メモリの設定
  - ・マルチプロセッサカーネルへの変更(2CPUモデルの場合)
- ▶ 再起動されるまで、絶対にキーボードやマウスを操作しないでください。
- ▶ リカバリ後のセットアップ時には、ディスプレイヤドライバは自動的に設定されません。本ワークステーションに添付のディスプレイドライバをインストールする必要があります。「ディスプレイドライバのインストール」、ディスプレイドライバ添付のマニュアルを参照のうえ、操作してください。

**14** 再起動後、管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

「無効なディスプレイの設定」が表示された場合は、「OK」をクリックします。

**15** 「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブでご希望の解像度／発色数を設定してください。

「はじめよう！CELSIUS」アイコンが消えたら、設定は終了です。

これで Windows NT セットアップが完了しました。

## 2 ユーザー登録とバックアップ

セットアップが終了したら、ユーザー登録、起動ディスクのコピー（CELSIUS 650）およびドライバのバックアップを行ってください。

### ユーザー登録を忘れずに

本ワークステーションが使用できる状態になったら、添付のユーザー登録カードに必要事項を記入し、投函してください。

ユーザー登録カードは、弊社やソフトウェア会社が自社製品のユーザーを把握し、さまざまな情報を提供する際に利用するものです。

ソフトウェアのバージョンアップ（ソフトウェアの機能を強化し、版数を上げること）時や電話相談などには、ユーザー登録をしていることが条件ですので、忘れずに投函してください。

### リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー（CELSIUS 650 のみ）

CELSIUS 650 に添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」には、リカバリ（→ P.34）に必要なファイルが含まれています。このディスクは、リカバリ時だけでなく、MS-DOS から実行するユーティリティの起動ディスクとしても、使用します。

次のものを用意してください。

- リカバリ CD-ROM 起動ディスク
- フロッピーディスクのラベル 1 枚（購入してください）
- 1.44MB フォーマット済 2HD フロッピーディスク 1 枚（購入してください）

#### コピー方法

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を次の方法でコピーし、原本を保管用として普段はコピー（複製）を使用してください。

- 1 添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。
- 2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。  
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「3.5 インチ FD (A:)」アイコンを右クリックし、「ディスクのコピー」をクリックします。  
「ディスクのコピー」ダイアログボックスが表示されます。

- 4** コピー元とコピー先に「3.5 インチ FD (A:)」が選択されていることを確認し、「開始」をクリックします。  
メッセージに従ってコピーを作成してください。
- 5** コピーが終了したら「閉じる」をクリックします。
- 6** コピーしたバックアップディスクに、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」と記入したラベルを貼ります。  
ラベルには「作業用」と記入し、お使いのワークステーションの機種名を記入しておくことをお勧めします。

## ドライバのバックアップ

本ワークステーションに添付の「ドライバーズ CD」から、「バックアップディスク」を作成します。

「バックアップディスク」は、ドライバのインストールに使用します。

### バックアップの内容

ソフトウェア名称	フロッピーディスクの枚数	備考	入力するフォルダ名
NT4.0 ドライバ	1	全機種	Drv1
	1	〔C650〕 1CPU	Drv2
	1	〔C650〕 2CPU	Drv3
8255x LAN ドライバ	1	全機種	IntelLan
3COM LAN ドライバ	2	全機種	3comLan¥Disk1 3comLan¥Disk2
U160W SCSI ドライバ	1	全機種	Scsi

次のものを用意してください。

- ドライバーズ CD (添付されています)
- 1.44MB フォーマット済み 2HD フロッピーディスク (表を確認し、必要な枚数を用意してください)

## バックアップ方法

- 1 「ドライバーズ CD」とフロッピーディスクをセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

- 3 コマンドプロンプトから、次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
format a:
```

- 4 【Enter】キーを押します。

フォーマットが終了すると、ラベルの入力メッセージが表示されます。

- 5 【Enter】キーを押します。

- 6 【N】キーを押し、【Enter】キーを押します。

- 7 コマンドプロンプトから、次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
cd /d [CD-ROM ドライブ]:\nt40\xxx
```

xxx には、「バックアップの内容」の表のフォルダ名を入力します。

- 8 コマンドプロンプトから、次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
xcopy *.* a: /s /e /h
```

- 9 作成したバックアップディスクに、ソフトウェア名称を記入したラベルを貼り、書き込み禁止の状態にします。

ソフトウェア名称は「バックアップの内容」の表で作成したものを記入してください

### 3 プレインストール仕様

Windows NT セットアップが終了した時点での本ワークステーションの環境は、次のとおりです。

使用環境に合わせてシステム構成を変更してください。

#### ソフトウェア一覧

##### POINT

- ▶ ソフトウェアのインストール方法については、「[ソフトウェアのインストール](#)」（→ P.39）をご覧ください。

#### プレインストールソフト

名称	備考
Windows NT Workstation 4.0 (Service Pack6a)	「C:\Winnt」ディレクトリにインストールされています。操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプ、および添付の『Windows NT Workstation ファーストステップガイド』をご覧ください。
電源切斷用 HAL	Windows NT シャットダウン時に自動的にワークステーション本体の電源を切るためのコンポーネントです。
Internet Explorer 5.01	WWW ブラウザです。
Windows 環境調査ツール (FM Advisor V2.30 L10)	ご使用のワークステーションの動作環境を調査し、アドバイスするべき情報がないかチェックします。また、ワークステーションの動作環境情報の取得ツールとしてもお使いいただけます。これらの情報を利用して問題の解決に役立てることができます（→ P.63）。
Acrobat Reader	PDF (Portable Document Format) 書類を表示、閲覧、印刷できます。

## 添付ソフト（未インストール）

### POINT

- 一部のソフトウェアの使用方法についてはヘルプまたはReadme.txtなどの説明ファイルをご覧ください。

名前	備考
MS-IME98	日本語変換ユーティリティです。
Power MAnagement for Windows	本ワークステーションの電源を制御するソフトウェアです（→ P.30）。
VirusScan	コンピュータウイルスを検出・駆除します（→ P.22）。
FM-Menu	アイテムをクリックするだけで、簡単にプログラムを起動できます。また、特定のキー入力を抑止したり、Windows機能を制限したりできます。これらの機能は、使用するユーザーごとに設定でき、本ワークステーションを使用するユーザーに応じて変更できます。ご使用前に必ず「Q&A集」（Fm-menu.htm）および「ソフトウェア説明書」（Readme.txt）をご覧ください。
はじめよう！インターネット（@nifty）	インターネットプロバイダである @nifty への入会用ユーティリティです。
NIFTY MANAGER	ワークステーション通信ソフトです。使用方法については、NIFTY MANAGER のヘルプをご覧ください。
Desk View 〔C440〕、〔C460〕	ローカルまたはネットワーク上のワークステーションの管理を簡単にします。詳細およびインストール方法は添付 CD-ROM 内の Readme.txt を参照して下さい。
光磁気ディスクドライブ※	光磁気ディスクのフォーマットやドライブ割り当てを行うユーティリティです。

※カスタムメイドオプションで光磁気ディスクドライブを選択している場合のみ、プレインストールされます。

## ドライブ構成

ドライブ	容量	備考
C	約 2GB	FAT (FAT16)
D	〔総容量〕 - 〔C ドライブの容量〕	NTFS
E	CD-ROM、DVD-ROM※または CD-R/RW※ ドライブ	
Q	光磁気ディスク ドライブ※	

※ : カスタムメイドオプション

FAT を NTFS に変換する方法については、「[ファイルシステムの変換](#)」(→ P.77) をご覧ください。

### POINT

- ▶ 光磁気ディスク媒体に 2 つ以上の区画がある場合は、2 つ目以降の区画にドライブ割り当てが必要です。「MO ディスクフォーマッタ」を使用して、割り当てを行ってください。
- ▶ NTFS に変換した場合、Windows NT 4.0、Windows 2000 以外のオペレーティングシステムからは、そのパーティションのファイルにアクセスできなくなります。
- ▶ ファイルシステムの変換方法については、「[ファイルシステムの変換](#)」(→ P.77) をご覧ください。
- ▶ 4GB 以上に割り当てられた NTFS のパーティションに対しては、NTFS の圧縮機能は利用できません。利用するには、ディスクアドミニストレータなどを使用して 4GB 未満のパーティションを作成する必要があります。
- ▶ 標準搭載のハードディスクは、Ultra DMA/66 に設定されています。
- ▶ DMA 転送をサポートしていないドライブを接続して、DMA を設定した場合、正常な動作が保証されません。
- ▶ 光磁気ディスクなどのカスタムメイドオプションを接続された場合には、各ドライブ名が標準構成から変わることがあります。必要に応じてドライブ名を割り当て直してください。

Memo

---

## 第2章

# 快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法など  
について説明しています。

1 コンピュータウイルス対策 .....	22
2 画面を設定する .....	25
3 ネットワークを設定する .....	29
4 Power MANagement for Windows .....	30

# 1 コンピュータウイルス対策

コンピュータウイルスはプログラムの1つで、なんらかの方法でコンピュータ内に読み込まれる（感染する）と、コンピュータウイルス自身で増殖し、大切なデータを壊したり、コンピュータを起動できなくしたりといった悪影響を及ぼします。

## VirusScan

本ワークステーションにはウイルスを発見するためのソフトとして、VirusScan が添付されています。入手したフロッピーディスクや光磁気ディスクなどは、ウイルスチェックを行ったうえで使用してください。VirusScan の使用方法については、ヘルプをご覧ください。

VirusScan はご購入時にはインストールされていません。必要に応じてインストールしてください（→ P.57）。

### POINT

- ▶ 「VShield」を起動していると、アプリケーションを正常にインストールできなかったり、ご使用のアプリケーションによっては不具合が発生したりすることがあります。この場合は次のいずれかの方法で「VShield」を使用不可にしてください。
  - 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates VirusScan NT」→「VirusScan コンソール」の順にクリックします。「VirusScan コンソール」ウィンドウで「VirusScan オンアクセスモニタ」をクリックし、「スキャン」メニュー→「使用不可」の順にクリックします。
  - 「VShield」アイコン（）がタスクバーに表示されている場合は、そのアイコンを右クリックし、「使用不可」をクリックします。
- ▶ VirusScan でコンピュータウイルス検査を行っているときは、ハードディスクにあるプログラムを実行したり、検査中のフロッピーディスクを取り出したりしないでください。
- ▶ 本ワークステーションをフロッピーディスクから起動する場合、そのフロッピーディスクがコンピュータウイルスに感染していないかをチェックしてから使用してください。
- ▶ VirusScan は、コンピュータウイルスの情報を記載したデータファイル（DAT ファイル）と、検査プログラム（スキャンエンジン）を使用しています。DAT ファイルは以下のサイトから無料でダウンロードできます。定期的に更新してください。  
<http://www.nai.com/japan/>

スキャンエンジンを更新する場合は、最新版の VirusScan をご購入ください。

## コンピュータウイルスを発見した場合

コンピュータウイルスを発見した場合は、被害届けを提出してください。

### △ 重要

- ▶ コンピュータウイルスに感染してしまい、本ワークステーションの修理が必要になった場合、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。ご了承ください。

## コンピュータウイルスの被害届け

コンピュータウイルスの届け出制度は、通商産業省の「コンピュータウイルス対策基準」（平成2年4月10日付通商産業省告示第139号／平成9年9月24日改訂通商産業省告示第535号）の規定に基づき、平成2年4月にスタートした制度です。コンピュータウイルスを発見した場合、コンピュータウイルス被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報を、情報処理振興事業協会（IPA）に届け出ることとされています。届け出の書式は次ページのとおりです。

2

快適  
い  
た  
だ  
く  
た  
め  
に

〒113-6591

東京都文京区本駒込2-28-8

情報処理振興事業協会

セキュリティセンター

(届出書)

ウイルス対策室 宛

住所

TEL 03-5978-7509

会社・団体名

FAX 03-5978-7518

部署

E-mail virus@ipa.go.jp

氏名

TEL

FAX

E-mail

コンピュータウイルスの被害(感染・発病)について、下記のとおり届け出ます。

記

1. 発見場所(部署名または個人名)

(名称がわからない場合は症状を記載)

2. ウイルス名称(内容)

3. 発見年月日

年 月 日

4. 感染機種

機種 : 富士通CELSIUSシリーズ

OS :  WindowsNT  Windows2000

ネットワーク

(チェックマークをつけてください。LAN接続以外は、スタンドアロンです)

:  スタンドアロン(単体)  LAN接続

5. 発見方法

ワクチンなどによる定期検査を行っている ⇒ 頻度(毎日・毎週 回／毎)

発見方法( )

発見に利用したソフトウェア

( VirusScan for Windows95/98/NT/2000(日本ネットワークアソシエイツ株式会社))

( 上記以外 ⇒ 名称: 社名: )

6. 推定される感染経路

感染元

他人から譲渡(国内)  電子メール(国内)

他人から譲渡(国外)  電子メール(国外)

雑誌などの付録  不明

パソコン通信(BBS)  その他( )

インターネット(ftp site, web site, NetNews)

媒体

フロッピーディスク  電子メール添付ファイル

CD-ROM  その他( )

ダウンロードファイル

7. 被害状況

PC 台

HD 台

FD 枚

その他

8. 回復処置

回復方法( )

回復に利用したソフトウェア

( VirusScan for Windows95/98/NT/2000(日本ネットワークアソシエイツ株式会社))

( 上記以外 ⇒ 名称: 社名: )

投入人日

( 人・ 日(0.5日単位で記述))

※ この届出はコンピュータウイルス対策基準(平成9年9月24日付通商産業省告示第535号)の規定に基づいています。届け出られた内容は被害の拡大及び再発の防止に活用しますが、記載されているプライバシーに関する情報を公表することはありません。

## 2 画面を設定する

ここでは、Windows NT 上で画面の設定を変更する方法について説明しています。

### POINT

- ▶ 設定できる色数は、画面の解像度によって異なります。解像度を大きくすると、設定できる色数は少なくなります。
- ▶ 解像度、色数の設定によっては、ディスプレイの調整が必要な場合があります。
- ▶ 画面の設定は、すべてのアプリケーションを終了させてから行ってください。
- ▶ お使いのディスプレイによっては、表示位置が左右にずれる場合があります。この場合は、ディスプレイの設定機能を使用して正しい位置に表示されるよう調整してください。
- ▶ お使いのディスプレイによっては、表示できない解像度があります。

### Matrox Millennium G400 (Dual Head を含む) 搭載モデルの場合

#### 解像度の設定

- 1 「コントロールパネル」ウィンドウの「Matrox 表示プロパティ」アイコンをダブルクリックします。

「Matrox 表示プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

### POINT

- ▶ 解像度と色数の設定は、必ず「Matrox 表示プロパティ」ダイアログボックスから行ってください。
- ▶ 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Matrox PowerDesk NT」→「Matrox 表示プロパティ」の順にクリックしてもダイアログボックスを表示できます。

「設定」タブ内の設定項目の詳細は、次のとおりです。

- |                |  |
|----------------|--|
| • 「OK」         | 設定が終了したときにクリックします。                                   |
| • 「キャンセル」      | 設定を中止するときにクリックします。                                   |
| • 「適用」         | 設定を更新するときにクリックします。                                   |
| • 「カラーパレット」    | 色数を変更します。  |
| • 「リフレッシュ頻度」   | グラフィックスアクセラレータのリフレッシュレートを変更します。                      |
| • 「フォントサイズ」    | フォントの大きさを変更します。                                      |
| • 「ディスプレイ領域」   | 画面の解像度を変更します。  |
| • 「ディスプレイスキーム」 | あらかじめ登録された画面設定の選択、登録名の変更、画面設定の削除、新たな登録を行うときにクリックします。 |
| • 「保存」         | 現在の画面設定を登録します。                                       |
| • 「削除」         | 選択した画面設定を削除します。                                      |
| • 「名前の変更」      | 選択した画面設定の登録名を変更します。                                  |

- 2** 解像度、色数などを設定し、「適用」をクリックします。  
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3** 「OK」をクリックします。
- 4** 正常に表示された場合は「はい」を、不具合があった場合は「いいえ」をクリックします。

POINT

- ▶ 「いいえ」をクリックした場合は、次に表示されるダイアログボックスで「OK」をクリックし、手順2に戻り再度解像度などを選択します。

設定が有効になります。

### Millennium G400 補足情報

「Matrox 表示プロパティ」ダイアログボックス内には Millennium G400 (Dual Head を含む) 特有の設定項目があります。  
これらの設定項目については、プロパティ画面内のヘルプを参照してください。通常は初期設定値でご使用ください。

POINT

- ▶ 「3D アクセラレーションを使用」をチェックすることにより、3D 描画性能が向上します。一部のアプリケーションで正しく動作しない場合は「3D アクセラレーションを使用」のチェックを外してご使用ください。

## Matrox Millenium G400 (Dual Head を含む) 以外を搭載するモデルの場合

### 解像度の設定

**1** 「コントロールパネル」ウィンドウの「画面」アイコンをダブルクリックします。

#### POINT

- ▶ デスクトップ上で右クリックし、「プロパティ」をクリックしても、「画面のプロパティ」ダイアログボックスを表示できます。

**2** 「ディスプレイの設定」タブをクリックします。

「ディスプレイの設定」タブ内の設定項目の詳細は、次のとおりです。

- |               |   |
|---------------|---|
| • 「OK」        | 設定が終了したときにクリックします。  |
| • 「キャンセル」     | 設定を中止するときにクリックします。  |
| • 「適用」        | 設定を更新するときにクリックします。  |
| • 「モードの一覧」    | 使用しているグラフィックスアクセラレータが対応しているカラーパレット、デスクトップ領域、およびリフレッシュレートの組み合わせの一覧が表示されます。 |
| • 「テスト」       | 画面の設定をテストします。   |
| • 「ディスプレイの種類」 | 新しいグラフィックスアクセラレータやモニターのソフトウェアをインストールするときにクリックします。                         |
| • 「カラーパレット」   | True Color に設定されています。   |
| • 「フォントサイズ」   | フォントの大きさを変更します。   |
| • 「デスクトップ領域」  | 画面の解像度を変更します。   |
| • 「リフレッシュレート」 | グラフィックスアクセラレータのリフレッシュレートを変更します。   |

**3** 解像度などを設定し、「テスト」をクリックします。

「テストモード」ダイアログボックスが表示されます。

**4** 「OK」をクリックします。

テストビットマップ (カラーパターン) が、約 5 秒間表示されます。

#### POINT

- ▶ テストビットマップの表示中は、マウスクリックおよびキーボード入力を行わないでください。画面の一部が正常に表示できなくなる場合があります。もし、上記現象が発生した場合は、Windows NT を再起動してください。

テストビットマップの表示が終了すると「テストビットマップは正しく表示されましたか?」と表示されます。

- 5** 正常に表示された場合は「はい」を、不具合があった場合は「いいえ」をクリックします。

POINT

- ▶ 「いいえ」をクリックした場合は、次に表示されるダイアログボックスで「OK」をクリックし、手順3に戻り再度解像度などを選択します。

- 6** 「適用」をクリックし、「OK」をクリックします。

設定が有効になります。

### 補足情報

「画面のプロパティ」ダイアログボックス内には各ディスプレイアダプタごとに特有の設定項目があります。これらの設定項目については各ディスプレイアダプタのプロパティ画面内のヘルプを参照してください。

# 3 ネットワークを設定する

ここでは、ネットワークの設定方法について説明します。

Windows NT をセットアップしたあとに、お使いのネットワーク環境に合わせて設定を行ってください。以降の手順は、TCP/IP プロトコルを追加する方法です。

## ネットワークの設定

- 1 「ネットワークコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。  
「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「プロトコル」タブをクリックし、「追加」をクリックします。  
「ネットワークプロトコルの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「ネットワークプロトコル」の「TCP/IP プロトコル」をクリックし、「OK」をクリックします。  
「TCP/IP セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 DHCP を使用する場合は「はい」を、使用しない場合は「いいえ」をクリックします。  
「Windows NT セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 次のように入力し、「続行」をクリックします。  
c:\\$support\i386  
「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「閉じる」をクリックします。  
このあとは、メッセージに従って操作してください。
- 7 インストール終了後 Windows NT Service Pack6aをインストールしてください  
(→ P.50)。

## 4 Power MANagement for Windows

Power MANagement for Windows (PMAN) は、本ワークステーションの電源を制御するソフトウェアです。本ソフトウェアでは、「スケジュールによる電源の ON/OFF (自動シャットダウン)」、「電源スイッチによるシャットダウン (電源 OFF)」、「LAN 経由によるリモート電源 ON/OFF」の機能を使用できます。

PMAN はご購入時にインストールされていません。必要に応じてインストールしてください (→ P.56)。

### PMAN の機能

本ソフトウェアの主な機能は、以下のとおりです。

#### ● リモート電源制御機能

本ワークステーションに搭載されている Wake on LAN 機能と連携し、ネットワーク上の他のワークステーションから LAN 経由で本ワークステーションの電源投入／切断 (自動シャットダウン含む) を行うことができます。グループ指定 (運用単位) により複数のワークステーションを一括して電源投入／切断することも可能です。

本機能を使用する場合は、別売の「Power MANagement for Windows (コンソール)」が必要です。設定を行う場合は、「Power MANagement for Windows (コンソール)」の「運用設定」を使用してください。

#### ● イベント連携機能

通常起動時、通常終了時 (シャットダウン時) のイベントごとにユーザプロセス (プログラム、コマンドなど) を指定できます。イベント発生とアプリケーションを連携させることができます。たとえば、通常停止 (電源切断) のイベント発生時にファイルの退避を行うといったようなアプリケーションの実行も可能です。イベントの設定は、「動作設定」を使用してください。

#### POINT

- ▶ 電源切断対応 HAL について  
必ず電源切断対応 HAL を使用してください。使用しない場合、シャットダウン後の自動電源切断が行われません (→ P.52)。
- ▶ シャットダウンについて  
本ソフトウェアでは、ワークステーションの強制シャットダウンは行いません。このため、シャットダウン時にアプリケーションの終了を確認してくれるプログラムがある場合は、終了の確認画面が表示された状態でキー入力待ち状態になります。
- ▶ DHCP について (リモート電源制御機能使用時のみ)  
本ソフトウェアは、DHCP プロトコルに対応していません。必ず、固定 IP アドレスを使用してください。
- ▶ ダイヤルアップアダプタが組み込まれている場合 (リモート電源制御機能使用時のみ)  
ダイヤルアップアダプタがプライマリとして組み込まれていることがあります。その場合は、「ネットワーク」ダイアログボックスからダイヤルアップアダプタを削除し、本ワークステーションの LAN アダプタをプライマリに設定したあとに、PMAN のインストールを行ってください。

## ▶ スクリーンセーバーについて

本ソフトウェアを使用する場合、スクリーンセーバー名に「OpenGL」の表記がある  
スクリーンセーバーは使用しないでください。

2

快適  
い  
た  
だ  
く  
た  
め  
に

Memo

## 第3章

# リカバリとインストール

本ワークステーションをご購入時の状態に戻す  
「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」  
について説明します。

1 リカバリ .....	34
2 ソフトウェアのインストール .....	39

# 1 リカバリ

Windows NT が起動されないなどの問題が発生した場合、リカバリを行います。

## リカバリの概要

リカバリとは、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」と「リカバリ CD-ROM」を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態（「[プレインストール仕様](#)」（→ P.17））に戻す作業です。

### 留意事項

- 次のドライバ、ソフトウェアについては、ご購入時の状態には戻りません。リカバリ後、個別にインストールする必要があります。
  - SCSI ドライバ（IDE モデルをご購入時にカスタムメイドオプションでご使用の場合）
  - 光磁気ディスクドライバ
  - DAT ドライバ
  - 3 モードフロッピードライバ（C440/C460）
  - ディスプレイドライバ
- リカバリやハードディスクの領域の変更を行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」を選択した場合は、リカバリを行っても、C ドライブ以外のドライブはフォーマットされません。
- 次の状態のハードディスクに対しては、「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択してリカバリを実行してください。「ご購入時の状態に戻す（推奨）」は選択しないでください。
  - C ドライブの領域が 1GB 未満のハードディスク
  - C ドライブの領域が 4GB を超えているハードディスク
- リカバリを行うと、C ドライブは FAT に設定されます。NTFS に変換していた場合は、リカバリ後再度変換してください（→ P.77）。
- オプションを取り付けている場合は、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」以外を選択してリカバリを行った場合、リカバリしたあと、必ず D ドライブをフォーマットしてください。また、リカバリ前に必要なデータを必ずバックアップしてください。

## リカバリの手順

リカバリは次の手順で行います。

### 1 「リカバリ CD-ROM」の準備

CELSIUS 650 の場合、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」(→ P.14) のコピーを併せて行ってください。

### 2 リカバリ (→ P.35)

## リカバリ終了後

リカバリ後、必要に応じてドライバ、添付アプリケーションをインストールしてください(→P.39)。

## リカバリ方法

本ワークステーションをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の手順を説明します。  
次のものを用意してください。

- CELSIUS 650 の場合：コピーしたリカバリ CD-ROM 起動ディスク (→ P.14)
- リカバリ CD-ROM

### △ 重 要

▶ リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。ご注意ください。

3

リカ  
バリ  
スリ  
ー  
ル

### 1 BIOS の設定をご購入時の設定に戻します。

設定方法は、『ハードウェアガイド』内の「BIOS 設定」をご覧ください。

BIOS の設定をご購入時と異なる設定に変更していると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

### 2 以下のご購入されたモデルごとに「リカバリ CD-ROM」をセットします。

CELSIUS 650 の場合は、更にご購入されたモデルごとに「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を書き込み可能な状態にしてセットします。

機種名		リカバリ CD-ROM 名称
CELSIUS 440	IDE モデル	CELSIUS 440 (IDE 用)
	U160W-SCSI モデル	CELSIUS 440 (U160W-SCSI 用)
CELSIUS 460	IDE モデル	CELSIUS 460 (IDE 用)
	U160W-SCSI モデル	CELSIUS 460 (U160W-SCSI 用)
CELSIUS 650	IDE モデル	CELSIUS 650 (IDE 用)
	U160W-SCSI モデル	CELSIUS 650 (U160W-SCSI 用)

- 3 本ワークステーションを再起動します。
- 4 【Page Up】【Page Down】キーで説明をスクロールして内容を確認し、【Y】キーを押します。
- 5 「ご購入時の状態に戻す(推奨)」が反転表示されていることを確認して【Enter】キーを押します。  
確認の画面が表示されます。

### POINT

- ▶ 「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択して設定するときは、「C ドライブを FAT16 で使用する。」のチェックを外さないでください。リカバリが正しく行われず、起動ができなくなります。

### POINT

- ▶ ハードディスクの領域を設定し直してリカバリしたい場合は、「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択してください。画面を見ながら区画を任意に設定し、リカバリできます(→ P.37)。

- 6 【Y】キーを押します。  
C ドライブがフォーマットされたあと、「Datacloning Wizard」と画面に表示され、ファイルのコピーが始まります。  
リカバリが終了すると「復元作業が正常に終了しました。」と表示されます。
- 7 CD-ROM とフロッピーディスク(C650 の場合)を取り出してから、本ワークステーションの電源を切ります。
- 8 以降、第1章を参照して操作してください。(→ P.10)

## ハードディスクの領域を設定する

ハードディスクの領域を設定するには、次の2つの方法があります。

- リカバリ中に2GB以下の領域を設定する

画面で確認しながら、1つのハードディスクを2個の領域に設定できます。指定できる容量は100MB単位になります。

- 2GBを超える領域を設定する

2GBから4GBまでのFAT16領域が作成できます。指定できる容量は1MB単位になります。

### POINT

- ▶ ハードディスクの領域の設定を行うと、Cドライブのファイルはすべて削除されます。ご注意ください。

### リカバリ中に2GB以下の領域を設定する

リカバリ中にハードディスクの領域を設定することができます。

- 1 「リカバリ CD-ROM」を起動し、リカバリメニューを表示します。

表示方法については、「リカバリ方法」(→ P.35)の手順1~4をご覧ください。

- 2 「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

領域の設定方法により、ここからの操作は異なります。

- 3 領域の設定方法により、次の操作のどちらかを行ってください。

### ※ 重 要

- ▶ 領域を変更すると、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。
- ▶ 「CドライブをFAT16で使用する。」のチェックを外さないでください。リカバリが正しく行われず、起動できなくなります。

- ・ 任意の領域を設定する →手順4へ
- ・ ご購入時の領域の状態に戻す →手順5へ

- 4 「領域を任意に設定して戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

【←】【→】キーを押すと、100MB単位で、領域を設定することができます。

領域を設定したら、【Enter】キーを押し、手順6へ進みます。

- 5 「領域をご購入時の状態にして戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

- 6 【Y】キーを押します。

領域の設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

- 7 【Enter】キーを押します。

本ワークステーションが再起動し、Cドライブをフォーマットしたあとファイルのコピーが始めます。

ファイルのコピーが終了すると、「復元作業が正常に終了しました。」と表示されます。

**8** このあとは、「リカバリ方法」の手順7（→P.35）へ進んでください。

## 2GB を超える領域を設定する

Windows NT をインストールできる、2GB から 4GB までの区画を作成します。

最初に区画サイズを設定し、その後リカバリを実行します。

### ⚡ 重要

- ▶ この作業を行った場合、ハードディスクはすべて初期化されます。

**1** 「リカバリ方法」の手順1～5（→P.35）までを行います。

「リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。

**2** 【N】キーを押します。

**3** 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
fjdisk /d:a 0
```

確認のメッセージが表示されます。

**4** 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
cpart.exe 4096
```

### ○ POINT

- ▶ これはCドライブを4GBで作成する例です。  
4GB以外の大きさで作成する場合は、作成したい大きさをMB単位で、数字の部分に指定してください。  
2GB以下、および4GBを超える区画サイズを指定したときの動作は保証しておりません。

**5** このあとは、「リカバリ方法」の手順3（→P.35）へ進んでください。

## 2 ソフトウェアのインストール

一部のドライバおよびアプリケーションのインストール方法を説明します。

### 操作に必要なもの

- ドライバーズ CD
- リカバリ CD
- 「Microsoft® IME98」の CD-ROM
- 「[ドライバのバックアップ](#)」([→ P.15](#)) で作成した「バックアップディスク」のうち、次のもの
  - NT4.0 ドライバ
  - 8255x LAN ドライバ
  - 3COM LAN ドライバ
  - U160W SCSI ドライバ

#### POINT

- ▶ 必要なドライバやアプリケーションをインストールしたら、Windows NT Service Pack6a を必ずインストールしてください ([→ P.50](#))。
- ▶ インストール時に「Windows NT Workstation 4.0 Disc1」の CD-ROM を要求された場合は、「c:\support\i386」を指定してください。

## ドライバのインストール

ドライバのインストールは、それぞれのドライバのインストール手順をご覧ください。  
インストール手順は次の表の場所にあります。

分類	ドライバ	インストール手順の保存場所とファイル名
SCSI ドライバ	Adaptec Ultra160 SCSI Driver	「SCSI ドライバのインストール」 ( <a href="#">→ P.41</a> )
ディスプレイ ドライバ	Matrox Millennium G400 Driver	「ディスプレイドライバのインストール (Matrox Millennium G400 Driver (Dual Head を含む) の場合)」 ( <a href="#">→ P.42</a> )
	CELSIUS SynergyII Driver	「ディスプレイドライバのインストール (CELSIUS SynergyII Driver の場合)」 ( <a href="#">→ P.42</a> )
	CELSIUS GL1 Driver	「ディスプレイドライバのインストール (CELSIUS GL1 Driver の場合)」 ( <a href="#">→ P.43</a> )
	CELSIUS Wildcat 4110 Driver	「ディスプレイドライバのインストール (CELSIUS Wildcat 4110 Driver の場合)」 ( <a href="#">→ P.44</a> )
	GM1000 TNT2 M64 Driver	「ディスプレイドライバのインストール (GM1000 TNT2 M64 Driver の場合)」 ( <a href="#">→ P.46</a> )」
	CELSIUS GL2 Driver	「ディスプレイドライバのインストール (CELSIUS GL2 Driver の場合)」 ( <a href="#">→ P.47</a> )」
サウンドドライバ	AD188X Audio Driver	「サウンドドライバのインストール」 ( <a href="#">→ P.48</a> )
LAN ドライバ	Intel 8255x LAN Driver	「LAN ドライバのインストール」 ( <a href="#">→ P.48</a> )
	3COM Fast-EtherLink XL 3C905C-TX WoL Driver	「LAN ドライバのインストール」 ( <a href="#">→ P.48</a> )

この表以外のドライバについては、「ドライバーズ CD」内の「Indexcd.htm」で該当するドライバのフォルダ名称を確認し、それぞれのフォルダ内の Readme.txt または Install.txt をご覧ください。

### POINT

- ▶ ディスプレイドライバをインストールする前に、必ず Windows NT Service Pack6a がインストールされていることを確認してください。

- 以下のディスプレイドライバの名称は、Windows NT上での名称と異なりますのでご注意ください。

ドライバ名称	Windows NT上での名称
CELSIUS Synergy II Driver	ELSA Synergy II
CELSIUS GL1 Driver	DIAMOND Fire GL1
CELSIUS Wildcat4110 Driver	Intense 3D Wildcat Pro
CELSIUS GL2 Driver	DIAMOND Fire GL2
GM1000 TNT2 M64 Driver	NVIDIA RIVA TNT M64

- 3モードフロッピーディスクドライブ(C440/C460)、光磁気ディスクユニット、DATユニットを使用する場合は、ドライバをインストールする必要があります。(→ P.49)

## SCSI ドライバのインストール

### POINT

- 光磁気ディスクドライブやDATユニットをご使用になる場合は、SCSI ドライバをインストールしてください。

- 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。  
「SCSI アダプタ」アイコンをダブルクリックします。
- 「ドライバ」タブの「追加」ボタンをクリックします。  
「ドライバのインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 「U160W SCSI ドライバ」のフロッピーディスクを挿入し、「ディスクの使用」をクリックします。  
「フロッピーからインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 「配布ファイルのコピー元」に「a:¥nt4」と入力し、「OK」をクリックします。  
「ドライバのインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 「Adaptec29160(N),39160,AHA-3960D,AIC-789217899 Ultra160 PCI SCSI Controller (NT4.0)」が選択されているのを確認し、「OK」をクリックします。
- 「今すぐコンピュータを再起動しますか?」というメッセージが表示されるので、フロッピーディスクを取り出してから「はい」をクリックします。

## ディスプレイドライバのインストール (Matrox Millennium G400 Driver (Dual Head を含む) の場合)

- 1 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。
- 2 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。  
「名前」に次のように入力して「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥nt40¥g400¥setup. exe  
「Matrox PowerDesk セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「Japanese」を選択して、「次へ」をクリックします。
- 5 「標準」をクリックします。  
ファイルのコピーが始まります。
- 6 Matrox Desktop Navigatorなどのインストールが完了した旨のメッセージが表示されたら、「次へ」をクリックします。このとき、セットアップが完了するまで、しばらくの間マウスのボタンをクリックしないでください。
- 7 「セットアッププログラムは、システムに Matrox PowerDesk をインストールしました。」というメッセージが表示されたら、CD-ROMを取り出してから「完了」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動され、「無効なディスプレイ設定」ダイアログボックスが表示されます。「OK」をクリックし、「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「OK」をクリックしてください。
- 8 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Matrox PowerDesk NT」→「Matrox 表示プロパティ」の順にクリックします。  
「Matrox 表示プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。「設定」タブでご希望の解像度／色数を設定してください。

## ディスプレイドライバのインストール (CELSIUS SynergyII Driver の場合)

- 1 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。
- 2 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。  
「名前」に次のように入力して「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥nt40¥synii¥setup. exe
- 4 「ELSA SynergyII セットアップ」プログラムが起動され「ようこそ」ダイアログボックスが表示されたら「次へ」をクリックします。

- 5 「セットアップ」ダイアログボックスが表示されたら、インストールしたいセットアップタイプを尋ねてくるので「ELSA SynergyII」が選択されていることを確認し「次へ」をクリックします。  
ドライバが CD-ROM からハードディスクにコピーされ、ELSA SynergyII ディスプレイドライバとユーティリティがインストールされます。
- 6 セットアップ完了のメッセージが表示され、再起動メッセージが表示されたら、CD-ROM を取り出してから、「直ちに再起動」を選択し「完了」をクリックします。
- 7 再起動後、管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。  
「無効なディスプレイの設定」が表示された場合は「OK」をクリックします。
- 8 「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブでご希望の解像度／色数を設定してください。

### ディスプレイドライバのインストール（CELSIUS GL1 Driver の場合）

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 デスクトップ上で右クリックし、「プロパティ」をクリックします。  
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「ディスプレイの設定」タブの「ディスプレイの種類」をクリックします。  
「ディスプレイの種類」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「アダプタの種類」の「変更」をクリックします。  
「ディスプレイの変更」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「ディスク使用」をクリックします。  
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 7 「配布ファイルのコピー元」に以下のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥nt40¥g1¥disk1
- 8 「ディスプレイ」から「DIAMOND Fire GL1 Video Accelerator」をクリックし、「OK」をクリックします。  
「サードパーティドライバ」ダイアログボックスが表示されます。
- 9 「はい」をクリックします。  
ファイルのコピーが始まります。途中で「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックします。

- 10** 「ファイルが必要」ダイアログボックスの「コピー元」の「disk1」を「disk2」に修正し、「OK」をクリックします。
- 11** 再度メッセージが表示されたら、「disk2」を「disk3」に修正し、「参照」をクリックします。
- 12** 「fgl10gl.s.cab」を選択し、「OK」をクリックします。
- 13** 「ドライバをインストールしています」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックします。
- 14** 「閉じる」をクリックします。  
「画面のプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。
- 15** 「閉じる」をクリックします。
- 16** 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、CD-ROMを取り出してから「はい」をクリックします。
- 17** 再起動後、管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。  
「無効なディスプレイ設定」ダイアログボックスが表示されます。「OK」をクリックし、「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「ディスプレイの設定」タブで、ご希望の解像度／色数を設定してください。

## ディスプレイドライバのインストール (CELSIUS Wildcat 4110 Driver の場合)

- 1** 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。
- 2** デスクトップ上で右クリックし、「プロパティ」をクリックします。  
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3** 「ディスプレイの設定」タブの「ディスプレイの種類」をクリックします。  
「ディスプレイの種類」ダイアログボックスが表示されます。
- 4** 「アダプタの種類」の「変更」をクリックします。  
「ディスプレイの変更」ダイアログボックスが表示されます。
- 5** 「ディスク使用」をクリックします。  
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 6** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 7** 「配布ファイルのコピー元」に以下のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:\nt40\wc4110\disk1

- 8** 「ディスプレイ」から「Intense3D Wildcat Pro」をクリックし、「OK」をクリックします。

「サードパーティ ドライバ」ダイアログボックスが表示されます。

- 9** 「はい」をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。途中で「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックします。

- 10** 「ファイルが必要」ダイアログボックスで「Intense3D Installation DISK2 (VIDEO)」上のファイル 'wcg0404.dll' が必要です。ファイルの格納場所へのパスを入力して、「OK」をクリックしてください。」というメッセージが表示されたら、「参照」をクリックします。

「ファイルを見つけます」ダイアログボックスが表示されます。

- 11** 「disk2」のフォルダを開き、「wcg0404.dll」を選択して「開く」をクリックします。

「ファイルが必要」ダイアログボックスに戻ります。

- 12** 「コピー元」に必要なファイルの格納フォルダ

([CD-ROM ドライブ]:¥nt40¥wc4110¥disk2)

が指定されていることを確認し、「OK」をクリックします。

- 13** 再度「ファイルが必要」ダイアログボックスが表示されたら、「disk3」、「disk4」に対しても手順 10 ~ 12 の操作を行います。

なお、要求されるファイルはそれぞれ以下になります。

disk3：“wcg0406.dll”

disk4：“wcg040b.dll”

- 14** 「ドライバをインストールしています」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックします。

- 15** 「閉じる」をクリックします。

「画面のプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。

- 16** 「閉じる」をクリックします。

- 17** 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、CD-ROM を取り出してから「はい」をクリックします。

- 18** 再起動後、管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。

「無効なディスプレイ設定」ダイアログボックスが表示されます。「OK」をクリックし、「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「ディスプレイの設定」タブで、ご希望の解像度／色数を設定してください。

## ディスプレイドライバのインストール (GM1000 TNT2 M64 Driver の場合)

- 1** 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。
- 2** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。  
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4** 「無効なディスプレイ設定」ダイアログボックスが表示された場合は、「OK」をクリックします。
- 5** 「ディスプレイの設定」タブの「ディスプレイの種類」をクリックします。  
「ディスプレイの種類」ダイアログボックスが表示されます。
- 6** 「アダプタの種類」の「変更」をクリックします。  
「ディスプレイの変更」ダイアログボックスが表示されます。
- 7** 「ディスク使用」をクリックします。  
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 8** 「配布ファイルのコピー元」に以下のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥nt40¥gm
- 9** 「ディスプレイ」から「NVIDIA RIVA TNT2 M64」をクリックし、「OK」をクリックします。  
「サードパーティドライバ」ダイアログボックスが表示されます。
- 10** 「はい」をクリックします。  
ファイルのコピーが始まります。
- 11** 「ドライバをインストールしています」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックします。
- 12** 「閉じる」をクリックします。  
「画面のプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。
- 13** 「閉じる」をクリックします。
- 14** 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、CD-ROMを取り出してから「はい」をクリックします。

**15** 再起動後、管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

「無効なディスプレイ設定」ダイアログボックスが表示されます。「OK」をクリックし、「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「ディスプレイの設定」タブで、ご希望の解像度／色数を設定してください。

**ディスプレイドライバのインストール (CELSIUS GL2 Driver の場合)**

**1** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

**2** 「ドライバーズ CD」をセットします。

**3** デスクトップ上で右クリックし、「プロパティ」をクリックします。  
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

**4** 「ディスプレイの設定」タブの「ディスプレイの種類」をクリックします。  
「ディスプレイの種類」ダイアログボックスが表示されます。

**5** 「アダプタの種類」の「変更」をクリックします。  
「ディスプレイの変更」ダイアログボックスが表示されます。

**6** 「ディスク使用」をクリックします。  
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

**7** 「配布ファイルのコピー元」に以下のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥nt40¥g12

**8** 「ディスプレイ」から「DIAMOND Fire GL2 Video Accelerator」をクリックし、「OK」をクリックします。  
「サードパーティードライバ」ダイアログボックスが表示されます。

**9** 「はい」をクリックします。  
ファイルのコピーが始まります。

**10** 「ドライバをインストールしています」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックします。

**11** 「閉じる」をクリックします。  
「画面のプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。

**12** 「閉じる」をクリックします。

**13** 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、CD-ROMを取り出してから「はい」をクリックします。

**14** 再起動後、管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

「無効なディスプレイ設定」ダイアログボックスが表示されます。「OK」をクリックし、「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「ディスプレイの設定」タブで、ご希望の解像度／色数を設定してください。

## サウンドドライバのインストール

- 1** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。  
「名前」に次のように入力して「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥Nt40¥ad188x¥setup. exe  
セットアップダイアログボックスが表示され、セットアップが開始します。
- 4** 「ようこそ」ダイアログボックスが表示されたら、「次へ」をクリックします。
- 5** セットアップ完了後、「ドライバーズ CD」を CD-ROM ドライブから取り出し、「完了」をクリックしてください。  
システムが再起動され、オーディオ機能が使用できるようになります。

## LAN ドライバのインストール

- 1** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。  
「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
- 3** 「アダプタ」タブの中の「追加」をクリックします。
- 4** 「ネットワークアダプタの選択」ダイアログボックスで、「ディスク使用」をクリックします。
- 5** インストールする LAN ドライバによって、以下のどちらかをフロッピーディスクドライブにセットし、ドライブ文字がご使用のフロッピーディスクドライブになっていることを確認してから「OK」をクリックします。
  - ・「8255x LAN ドライバ」のフロッピーディスク（ドライバーズ CD からバックアップ作成）
  - ・「3COM LAN ドライバ」のフロッピーディスク（ドライバーズ CD からバックアップ作成）

注) LS-120 をお使いの場合、LS-120 のドライブ文字が B: となっている場合があります。この場合は「A:」の部分を「B:」と書き直してから「OK」をクリックしてください。

- 6 「Intel(R) PRO Adapter」または「3Com EtherLink PCI NIC」を選択し、「OK」をクリックします。
- 7 メッセージに従って操作を続けます。使用するネットワーク環境に合わせてプロトコルなどを設定してください。

### 3 モードフロッピードライバのインストール

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「NT4.0 ドライバ」とラベルが貼られたフロッピーディスクをセットします。
- 3 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Windows NT エクスプローラ」の順にクリックします。
- 4 フロッピーディスクの「¥3mode」フォルダに移動します。
- 5 「floppy00.inf」ファイルを右クリックし、「インストール」をクリックします。ドライバがインストールされ、再起動メッセージが表示されます。
- 6 フロッピーディスクを取り出し、「OK」をクリックします。本ワークステーションが再起動します。

### 光磁気ディスクドライバのインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥nt40¥moformat¥setup. exe  
メッセージに従ってインストールを続けます。

### DAT ドライバのインストール

#### ※ 重要

► IDE モデルをご購入の方は、まず SCSI ドライバをインストールしてから以下の手順を行ってください。

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「テープデバイス」の順にクリックします。

- 3 自動的に接続されている DAT ドライブが認識され、「ドライバのインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 製造元を「(標準のテープドライブ)」、テープデバイスを「4mmDAT ドライブ」をクリックし、「OK」をクリックします。  
「新しい SCSI テープデバイスが見つかりました」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」をクリックします。
- 5 「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」をクリックします。
- 6 「ファイルが必要」ダイアログボックスが表示されるので、コピー元に「c:\support\i386」を入力し、「OK」をクリックします。
- 7 「テープデバイス」のダイアログボックスが表示されるので、「OK」をクリックします。
- 8 Windows NT Service Pack6a をインストールします。

POINT

▶ インストール方法は、Windows NT Service Pack6a のインストールを参照してください。

- 9 Windows NT Service Pack6a をインストールが終了したら再起動させます。  
ログオン後、DAT ドライブが使用できるようになります。

## Windows NT Service Pack6a のインストール

Windows NT Service Pack6a には、Windows NT に対する新しい修正、以前にリリースされた Service Pack の修正が含まれています。ドライバなどをインストールしたら、Windows NT Service Pack6a をインストールしてください。

- 1 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
C:\Support\SP\sp6i386.exe  
「Windows NT Service Pack セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「同意する」をチェックし、「インストール」をクリックします。  
メッセージに従ってインストールを続けます。インストールが終了すると、再起動メッセージが表示されます。

## 5 「再起動」をクリックします。

### POINT

- ▶ Windows のバージョン情報は、次の手順で見ることができます。
  - 1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
  - 2 「ヘルプ」メニュー→「バージョン情報」の順にクリックします。
- ▶ 新しいドライバなどをインストールしたあとは、Service Pack6a を再度インストールしてください。

## DMA の設定

ハードディスクに DMA の設定を行うことができます。設定できるチャネルは、プライマリ IDE です。

### ■ 留意事項

- 次の場合に、セカンダリ IDE を DMA に設定できます。
  - セカンダリ IDE が標準搭載の CD-ROM ドライブ（カスタムメイドオプションで DVD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブを選択した場合は、DVD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブ）のみ接続
- DMA の設定は、チャネル 0（プライマリ IDE）、チャネル 1（セカンダリ IDE）の単位で行われます。DMA 転送をサポートしていないドライブを接続して、DMA を設定した場合、正常な動作が保証されません。

### ■ 設定方法

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
 c:\support\sp\dmacheck.exe  
 「ATAPI DMA サポート」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「DMA 検出状態」で「有効」をクリックし、「OK」をクリックします。  
 「警告」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「はい」をクリックします。  
 「完了」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「OK」をクリックします。

以上で設定は終了です。再起動すると、DMA が有効になります。

設定が有効になっているかどうかを確認するには、再度 dmacheck.exe を起動します。

## 電源切断対応 HAL の組み込み

- 1 Windows NT 4.0 を起動します。
- 2 コマンドプロンプトを開きます。
- 3 システムがインストールされているドライブ (C: など) に移動します。  
例 : c: 【ENTER】
- 4 HAL.DLL がインストールされているディレクトリ、「%SystemRoot% (デフォルトでは ¥winnt) ¥system32」に移動します。  
例 : cd ¥winnt¥system32 【ENTER】
- 5 既存の hal.dll のバックアップをとります。  
例 : copy hal.dll hal.org 【ENTER】
- 6 該当する機種用の NT4.0 ドライバディスク内の「halXXXX.dll」を「hal.dll」と言う名前でコピーします。(XXXX は各機種ごとに異なる名前です。)  
例 : copy a:¥halfmva.dll hal.dll 【ENTER】
- 7 コピー終了後、シャットダウンし、Windows NT 4.0 を再起動します。

### POINT

- ▶ ServicePack 適用後に電源切断機能が使用できなくなることがあります。この場合は ServicePack 適用後に再度手動で電源切断 HAL を組み込みなおしてください。

## シャットダウン時に電源切断を選択できるようにする

シャットダウン時の電源切断機能を有効にするために、電源切断用 HAL のインストール終了後に次の操作を行ってください。

### POINT

- ▶ レジストリの変更時に誤った設定を行うと、システムが起動できなくなることがあります。変更するときは充分に注意してください。

- 1 Windows NT 4.0 を起動し、管理者権限をもったユーザー アカウントでログオンします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 「名前」ボックスに次のように入力し、「OK」をクリックします。  
regedit32  
「レジストリエディタ」 ウィンドウが表示されます。

- 4** 「ローカルマシン上の HKEY\_LOCAL\_MACHINE」ウィンドウをアクティブにし、以下のレジストリキーに移動します。

¥¥HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥WindowsNT¥CurrentVersion¥Winlog  
on

- 5** 「PowerdownAfterShutdown」をダブルクリックします。

「文字列エディタ」 ウィンドウが表示されます。

- 6** 「文字列」に「1」を入力し、「OK」をクリックします。

- 7** 「レジストリ」メニューをクリックし、「レジストリエディタの終了」をクリックします。

設定した内容はすぐに反映されます。再起動する必要はありません。

## プレインストールソフトのインストール

### Internet Explorer5.01 のインストール

ご購入時には Internet Explorer 5.01 がインストールされています。

再インストールを行う場合は、「リカバリ CD-ROM」の ¥IE5¥IE5SETUP を実行してください。

#### POINT

- ▶ Internet Explorer のインストールは、Windows NT Service Pack6a のインストール後に行ってください。

### FM Advisor のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ] : ¥nt40¥fmadv¥advisor¥setup. exe

メッセージに従ってインストールを続けます。

### Acrobat Reader のインストール

- 1 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。
- 2 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ] : ¥nt40¥Acrobat¥ar405.jpn. exe
- 5 「次へ」を2回クリックします。
- 6 「情報」で「OK」をクリックします。
- 7 本ワークステーションを再起動します。

## 添付ソフトのインストール

### MS-IME98 のインストール

**1** 「Microsoft® IME98」の CD-ROM をセットします。

しばらくすると、「Microsoft IME98 セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。

**2** 「継続」をクリックします。

メッセージに従ってインストールを続けます。

### FM-Menu のインストール

**1** 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。

**2** 「ドライバーズ CD」をセットします。

**3** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

**4** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥nt40¥fmmenu¥setupfm-menu. exe

メッセージに従ってインストールを続けます。

### はじめよう！インターネット (@nifty) のインストール

**1** 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。

**2** 「ドライバーズ CD」をセットします。

**3** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

**4** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥nt40¥niftysgn¥niftysgn¥Setup. exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

3

リカ  
ンバ  
スリ  
スト  
ル

## NIFTY MANAGER のインストール

### ◀ 重要

- ▶ セットアップの途中でインストールが止まってしまうことがあります。そのような場合は、Internet Explorer を起動し、何らかの HTML ファイルを開いてください。セットアップに戻ります。

- 1 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。
- 2 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ] : \nt40\nifty\niftynim\setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

## PMAN のインストール

### ○ POINT

- ▶ リモート電源制御機能を使用する場合は、インストール時にあらかじめ IP アドレス、サブネットマスクの設定、TCP/IP プロトコルおよび NetBEUI のインストールが必要です。また、使用時には BIOS セットアップで以下に示す項目を設定してください。  
[C440] [C460] の場合
  - Advanced メニュー内  
「Power On/Off」—「Power On Source:LAN」:「Enabled」
- [C650] の場合
  - Power Events タブ内  
「Power On Integrated LAN Enabled」:「Enabled」
- ▶ PMAN の詳細については、「[Power MANagement for Windows](#)」(→ P.30) をご覧ください。

- 1 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。
- 2 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 4 「名前」に次のように入力して、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ] : \nt40\pman\pmansub\setup.exe

メッセージに従ってインストールを続けます。

## VirusScan のインストール

- 1** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 4** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:\\$nt40\\$vsnt\\$setup. exe

インストールが始まります。次のポイントを参照し、メッセージに従って操作してください。

### POINT

- ▶ 「サービスアカウント情報」ダイアログボックスでは、管理者権限を持った「用户名」とその「パスワード」を入力してください。

3

リカ  
ンバ  
スリ  
スト  
ール

Memo

---

## 第4章

# 困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことが  
あったときの対処方法について説明していま  
す。

4

1 こんなときには .....	60
2 それでも解決できないときは .....	65

# 1 こんなときには

ここでは、Windows NT の使用時に直面する問題について、Q&A 形式でまとめています。また、トラブルが発生したときや困ったときの参考先を説明しています。

## トラブル発生時の参考先

### Windows NT に関して

添付の Windows NT のマニュアルか、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプをご覧ください。

### ハードウェアに関して

マニュアル『ハードウェアガイド』をご覧ください。

## Windows NT に関する Q&A

**Q** ディスプレイドライバ、サウンドドライバ、LAN ドライバが正しく動作しない

**A** 各ドライバをインストールし直す必要があります。

お使いの機種に対応する各ドライバは、「[ドライブ構成](#)」(→ P.19) でご確認ください。

インストール方法については、「[ドライバのインストール](#)」(→ P.40) をご覧ください。

**Q** プリンタの追加方法は？

**A1** 次の手順で追加してください。

1 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。

2 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。

3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。

「プリンタの追加 ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

以降は、ローカルプリンタを追加するか、ネットワークプリンタを追加するかで手順が異なります。

ローカルプリンタの場合

4 「このコンピュータ」をクリックし、「次へ」をクリックします。

5 「利用可能なポート」の「LPT1:」をチェックし、「次へ」をクリックします（通常は LPT1 ですが、空いていない場合は別のポートを選択します）。

6 「製造元」からプリンタメーカーを、「プリンタ」から該当するプリンタを選択し、「次へ」をクリックします。

### POINT

- ▶ プリンタにドライバディスクが添付されている場合は、それらをセットしてから「ディスク使用」をクリックし、該当するプリンタを選択します。

- 7 「プリンタ名」でプリンタの名前を付け、「次へ」をクリックします。すでにほかのプリンタドライバがインストールされている場合は、Windows アプリケーションで選択したプリンタを通常使うかどうかを選択し、「次へ」をクリックします。
- 8 プリンタを共有しない場合は、「共有しない」をクリックし、「次へ」をクリックします。共有する場合は「共有する」をクリックし、「共有名」を付け、「次へ」をクリックします。
- 9 テストページを印刷する場合は、「はい（推奨）」をクリックし、印刷しない場合は「いいえ」をクリックして、「完了」をクリックします。

#### ネットワークプリンタの場合

- 4 「ネットワークプリンタサーバー」をクリックし、「次へ」をクリックします。「プリンタの接続」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「共有プリンタ」からプリンタを選択し、「OK」をクリックします。
- 6 すでに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、Windows アプリケーションで選択したプリンタを通常使うかどうかを選択し、「次へ」をクリックします。
- 7 「完了」をクリックします。

**Q** 光磁気ディスクドライブをスーパーフロッピー形式で使用するには？

**A** 光磁気ディスクドライブの設定は必要ありません。光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットするには、まず、SCSI ドライバがインストールされていることを確認してください（インストール手順→P.41）。その後、「光磁気ディスクドライバ」をインストールして使用してください。なお、「光磁気ディスクドライバ」は、SCSI 規格の光磁気ディスクドライブで使用できます。

**Q** 光磁気ディスクドライブを接続すると各ドライブのドライブ名が変わってしまった

**A** 光磁気ディスクドライブなどのカスタムメイドオプションを接続された場合には、各ドライブ名が標準構成から変わることがあります。必要に応じてドライブ名を割り当てなおしてください。

**Q** キーボードの NumLock がオンの状態で、Windows NT を起動する方法は？

**A** 次の手順で設定してください。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
regedt32
- 3 「ローカルマシン上の HKEY\_CURRENT\_USER」ウィンドウをアクティブにし、次のレジストリに移動します。  
「HKEY\_CURRENT\_USER\Control Panel\Keyboard」
- 4 「InitialKeyboardIndicators」をダブルクリックします。
- 5 「文字列」に「2」を入力し、「OK」をクリックします。
- 6 「レジストリ」メニュー→「レジストリエディタの終了」の順にクリックします。

#### 重 要

- ▶ レジストリの変更時に誤った設定を行うと、本ワークステーションが起動できなくなることがあります。変更するときは、十分に注意してください。

**Q** Windows 95 や MS-DOS のように、ワークステーション同士をシリアルケーブルで接続してデータのやりとりができますか？

**A** RAS (Remote Access Service) の機能を使うことによって、シリアルケーブル接続でのデータのやりとりが可能です。

「Q: モデムの追加方法は？」(→ P.62) に従ってモデムの追加を行います。このとき、「製造元」から「(標準のモデムドライバ)」を、「モデル」から「シリアルケーブル PC-PC 接続」を選択してください。

**Q** モデムの追加方法は？

**A** 次の手順で追加してください。

- 1 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。
- 2 「コントロールパネル」 ウィンドウの「モデム」アイコンをダブルクリックします。「新しいモデムのインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」をクリックします。
- 4 「製造元」からモデムメーカーを、「モデル」から該当するモデムを選択し、「次へ」をクリックします。

### POINT

▶ モデムにドライバディスクが添付されている場合は、それらをセットしてから、「ディスク使用」をクリックし、該当するモデムを選択します。

5 「選択したポート」をクリックし、表示されている COMn (n には数字が表示されています) をクリックして、「次へ」をクリックします。

6 「完了」をクリックします。

「モデムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

7 「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。

8 所在地の設定を行い、「OK」をクリックします。

国／地域番号：現在お使いになっている国を選択します（例：日本）。

市外局番：現在お使いになっている場所の市外局番を入力します（例：03）。

外線発信番号：内線を使用している方で、外線にかける場合に必要な番号を入力します（例：0）。

ダイヤル方法：電話の契約がプッシュ回線の場合はトーン、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します。

9 「閉じる」をクリックします。

**Q** ログオン時のパスワードに、大文字、小文字の区別はありますか？

**A** あります。

**Q** 自動ログオン（パスワード入力なしでログオンすること）の設定方法は？

**A** 次の手順で設定してください。

- 1 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
regedit32
- 4 「ローカルマシン上の HKEY\_LOCAL\_MACHINE」 ウィンドウをアクティブにし、以下のレジストリに移動します。  
「HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon」
- 5 「AutoAdminLogon」をダブルクリックします。
- 6 「文字列」の値を「1」に変更し、「OK」をクリックします。
- 7 「DefaultPassword」をダブルクリックします。
- 8 「文字列」に DefaultUserName の下にリストされたユーザーのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
- 9 「レジストリ」メニュー→「レジストリエディタの終了」の順にクリックします。

### ○ 重要

- ▶ 手順 8 でパスワードを設定しない場合は、次回のログオン時のみ自動ログオンできます。
- ▶ レジストリの変更時に誤った設定を行うと、本ワークステーションが起動できなくなることがあります。変更するときは、十分に注意してください。
- ▶ 手順 5 および手順 7 のレジストリの値がない場合は、「編集」メニュー→「値の追加」の順にクリックし、それぞれ次のように入力して、「OK」をクリックします。
  - 手順 5  
値の名前 : AutoAdminLogon  
データタイプ : REG\_SZ
  - 手順 7  
値の名前 : DefaultPassword  
データタイプ : REG\_SZ
- ▶ ネットワーク環境において、Windows NT 4.0 の自動ログオン機能を使用する場合、本ワークステーション起動時にサーバーに接続できないことがあります。この場合は、サーバーへの再接続を行ってください。
- ▶ 自動ログオン機能を使用してネットワークに接続した場合、正規ユーザー以外がネットワークにログインすることが可能になります。セキュリティ上の問題が発生する場合、自動ログオン機能を使用しないでください。

**Q** オンラインヘルプやエラーメッセージの対処方法を参照しても原因がわからない

**A** 本ワークステーションでは、次のワークステーション診断アプリケーションを用意しています。

#### FM Advisor

FM Advisor の使用方法は次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「FM Advisor」→「FM Advisor」の順にクリックします。
- 調査結果が表示されます。

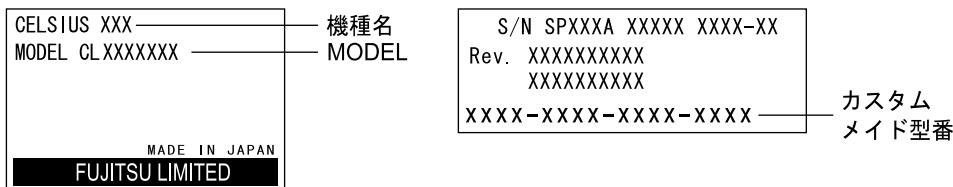
- Q** 「レジストリクオータ不足」の警告（「システムのレジストリクオータが不足しています。レジストリクオータを増やすには、「コントロールパネル」ウィンドウの「システム」を起動して「仮想メモリ」をクリックしてください。」）が表示されたら？
- A** 次の手順で設定してください。
- 1 管理者権限を持ったユーザー アカウントでログオンします。
  - 2 実行中のアプリケーションを終了します。
  - 3 「コントロールパネル」 ウィンドウの「システム」アイコンをダブルクリックします。「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
  - 4 「パフォーマンス」タブをクリックし、仮想メモリの「変更」をクリックします。
  - 5 「最大レジストリサイズ (MB)」に「19」と入力し、「OK」をクリックします。「システムのプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。
  - 6 「OK」をクリックします。
  - 7 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。
- 操作後も上記のメッセージが表示される場合は、「最大レジストリサイズ (MB)」を「20」以上に設定してください。

## 2 それでも解決できないときは

下記の連絡先にお問い合わせください。なお、お問い合わせ前に機種名／MODEL／カスタムメイド型番を確認し、次のページのシートに環境とトラブル状況などを記入してください。

### 機種名／MODEL／カスタムメイド型番の表記場所

ワークステーション本体背面のラベルに記載されています。



### 連絡先

こんなときには	こちらへ
添付品の不備	担当営業員または担当保守員
故障かなと思われたとき	担当営業員または担当保守員
技術的なご質問・ご相談	担当営業員または担当保守員
本ワークステーションにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	本書の冒頭に記載されている「 <a href="#">お問い合わせ一覧</a> 」 (→ P.4)

### 情報サービス

また、次の方法で情報サービスを行っております。

富士通パソコン FAX サービス (カタログ、Q&A 情報)	043-299-3642 (千葉) 06-6949-3270 (大阪)
インターネット (製品の技術情報)	富士通オープンシステム情報ページ PRIMESERVER GRANPOWER WORLD <a href="http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/granpower/index.html">http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/granpower/index.html</a>

## お問い合わせ前の確認シート

### お客様の環境

お使いのワークステーションの機種は？	機種名：CELSIUS	MODEL：
	カスタムメイド型番：	
	購入日：	

メモリの容量は？	本体標準： MB	
	増設： MB	[メーカー： ] [型番： ]

増設した周辺機器は？	種類	型番号	メーカー

お使いのソフトウェアは？	ソフトウェア名	バージョン／レベル	メーカー
	Windows NT	4.00 (Service Pack )	—

### トラブル状況ワークステーション

トラブルの内容は？	
何をしているときに起こりましたか？	
エラーメッセージは表示されましたか？ その内容は何ですか？	
以前は問題なく動作していましたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以前は動作した</li> <li>・ 今回初めて試した</li> <li>・ 以前から動作しない</li> </ul>

## 第5章

# 技術情報

ファイルシステムの変換方法や留意事項などについて説明しています。

1 その他の留意事項 .....	68
2 ファイルシステムの変換 .....	77

# 1 その他の留意事項

本ワークステーションをお使いになるうえでの留意事項を記載しています。

## Windows NT の CD-ROM を要求された場合

ドライバのインストール時などに、「Windows NT Workstation 4.0 Disc1」の CD-ROM を要求される場合があります。このときは、「c:\support\i386」を指定してください。

### ◆ 重要

- ▶ 「C:\Support\i386」フォルダは削除しないでください。削除すると、ネットワークコンポーネントの追加などができなくなります。

## 本ワークステーションで使用するソフトウェア

古いバージョン／レベルのソフトウェア（アプリケーション、ドライバ）を使用すると、本ワークステーションおよびソフトウェアが正常に動作しない場合があります。本ワークステーションに添付されているソフトウェアは、添付されているバージョンを使用するか、その最新版を入手して使用してください。

また、本ワークステーションに添付されていないソフトウェアの場合も、最新版を使用してください。

## 他の OS のサポートについて

本ワークステーションでは、Windows NT Workstation 4.0 および Windows 2000 Professional 以外の OS はサポートしていません。

## Acrobat Reader について

市販のアプリケーションによっては、インストールの際に、Acrobat Reader を一緒にインストールするものがあります。このとき、本ワークステーションにプレインストールされている Acrobat Reader 4.05 よりも低いバージョンのものがインストールされてしまうことがあります。

バージョンをご確認のうえ、Acrobat Reader 4.05 をインストールし直してください（→ P.54）。

## 新規ユーザーで Adobe Acrobat Reader を利用する場合

以下の手順で使用します。

- 1 Adobe Acrobat Reader を起動します。
- 2 「Acrobat」ダイアログが出たら「日本語」を選択し「OK」をクリックします。  
(最初は「English」が選択されています。)
- 3 「ソフトウェア使用許諾契約書」ダイアログ内の文書を良く読み、「同意する」をクリックします。

## 4 以降は普通に起動されます。

### ディスプレイドライバ

- 解像度、色数、リフレッシュレートを変更する場合は必ずアプリケーションを終了させてから行ってください。  
「画面のプロパティ」－「ディスプレイの設定」－「リフレッシュレート」は接続するディスプレイに合わせて設定してください。
- 解像度、色数、リフレッシュレートの変更を行い、「この新しい設定が正しいかどうかテストしていません。」という警告メッセージが表示された場合は、必ず「キャンセル」をクリックし、テストを行ってください。
- 本ディスプレイドライバは、Windows NT Service Pack6a 上で動作します。
- グラフィック性能は、環境設定および使用するアプリケーションによって異なります。
- 解像度を変更した場合、一部のアプリケーションでウィンドウが画面からはみ出することがあります。この場合は、ウィンドウをドラッグして正しい位置に移動するか、解像度を元に戻してください。
- お使いになるディスプレイや、解像度の設定によっては、CAD 系アプリケーションなどで縦線と横線の太さが異なって見えることがあります。設定を調整して使用してください。なお、正常に表示されない場合は、色数を 256 色または 16,777,216 色に設定してください。
- DirectX のサポートは、DirectX3 の DirectDraw のみです。

### ディスクアドミニストレータ

ディスクアドミニストレータがディスクにアクセスできるようにするために、初めてディスクアドミニストレータを起動したとき、ディスクに署名を書き込む必要があります。次の手順で署名を書き込んでください。

#### 1 ディスクアドミニストレータを起動すると、「ディスクアドミニストレータ」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」をクリックします。

「確認」ダイアログボックスが表示されます。

#### 2 「はい」をクリックします。

ディスクに署名が書き込まれ、ディスクアドミニストレータでディスクをアクセスできるようになります。

## Windows NT 4.0 Service Pack6a に関する留意事項

- Windows NT 4.0 Service Pack6a をインストールした環境に新しいコンポーネントをインストールすると、正常に動作しない場合があります。  
これは、追加したコンポーネントのファイルが、Service Pack6a のコンポーネントのファイルと異なる場合があるためです。たとえば、Service Pack6a をインストール後、ネットワークを組み込んだときに、サーバーサービスが正常に動作しなくなる現象が確認されています。原因是、「C:\Support\I386」からインストールされたネットワークモジュールが、Service Pack6a のネットワークモジュールと異なるためです。このような場合は、再度 Service Pack6a をインストールする必要があります。
- ネットワークがインストールされていない環境に Service Pack6a をインストールしたあと、フォントやマルチメディアドライバなどを追加する際に「参照」をクリックすると、Windows NT がインストールされているドライブしか表示されない場合があります。  
インストール元がフロッピーディスクまたは CD-ROM の場合は Windows NT がインストールされているドライブに適当なフォルダを作成し、このフォルダにインストールするドライバやファイルをあらかじめコピーしてからインストールしてください。  
なお、「マルチメディア」の「ドライバのインストール」では、フルパスを入力してインストールすることもできます。
- シャットダウン時またはログオフ時、次のエラーメッセージが表示されることがあります、動作に問題はありません。  
「ウインドウステーションがシャットダウン中であるためアプリケーションが初期化に失敗しました。」  
このメッセージが表示されたあとにログオンすると、日本語入力システムとして MS-IME97 を使用している場合、下記の現象が起きことがあります。なお、文字入力は正常に行えます。
  - MS-IME97 のツールバーを「タスクバーに入る」に設定していると、「日本語入力インジケータ」が表示されなくなることがあります。  
「日本語入力インジケータ」を表示させるには、MS-IME97 を再度オンにしてください。
  - MS-IME97 のツールバーを「ドッキング可能」に設定していても、ドッキング機能が有効にならないことがあります。
- 「画面のプロパティ」の「スクリーンセーバー」タブで、スクリーンセーバーとして「チャンネルスクリーンセーバー」を指定しないでください。アプリケーションエラーが発生します。
- ソフトウェアを使用するときに、次のようなメッセージが表示される場合があります。  
パフォーマンスマニタ : perfmon.exe -DLL が見つかりません。  
ダイナミックリンクライブラリ snmpapi.dll が指定されたパス  
C:\WINNT\System32;;C:\WINNT\System32;C:\WINNT\System;  
C:\WINNT;C:\WINNT\System32;C:\WINNT に見つかりません。  
この場合、次の方法で回避できます。
  - ネットワークプロトコルに「TCP/IP プロトコル」を追加する。
  - 「Windows NT Service Pack6a Disc1」内の「I386\Snmpapi.dll」を「C:\Winnt\System32」にコピーする。

● イベントビューアにエラーが登録される場合について

本ワークステーションへのログオン時、「イベントビューア」に以下のエラーが登録される場合があります。この場合、下記に記載してあるいずれかの方法にて回避してください。

イベント ID : 7001

ソース : Service Control Manager

種類 : エラー

説明 : Protected Storage サービスは次のエラーのために開始できなかった Remote ProcedureCall (RPC) Service サービスに依存します:  
サービスは開始後に開始待ち状態でハングしました。

イベント ID : 7022

ソース : Service Control Manager

種類 : エラー

説明 : Remote Procedure Call (RPC) Service サービスは開始時にハングしました。

• 回避方法

- 1. IPX プロトコルを削除する。

IPX プロトコルを使用していない場合は以下の手順に従い IPX プロトコルを削除します。

1 「ネットワークコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。

2 「プロトコル」タブをクリックし、「ネットワークプロトコル」から「NWLink IPX/SPX 互換トランスポート」を選択し「削除」ボタンをクリックします。

3 「はい」をクリックします。

- 2. TCP/IP プロトコルをインストールし、TCP/IP プロトコルを使用する。

- 3. DCOMCNFG の既定のプロトコルタブで NetBEUI の優先順位を上げる。

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

**dcomcnfg**

「分散 COM の構成のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 「既定のプロトコル」タブを選択し、「DCOM プロトコル」から「Connection-oriented NetBEUI」を選択します。

4 「Connection-oriented NetBEUI」が「Datagram IPX」より上に表示されるまで「上へ」をクリックします。

5 「OK」をクリックします。

## Internet Explorer 5.01 の留意事項

「スタート」ボタン→「設定」→「タスクバー」の順にクリックし、「スタートメニューの設定」タブから削除を行うとエラーが発生します。

削除するときは、「スタート」ボタンを右クリックして「開く」をクリックし、スタートメニューのプログラムから該当する項目を削除してください。

## ダイヤルアップ接続設定後に発生する問題

Internet Explorer 起動時に、インターネット接続ウィザードのセットアップオプションで「新しいインターネットアカウントにサインアップします（電話回線はモデムに接続されています）」を選択してダイヤルアップ設定を行うと、Windows NT 起動時に次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「1つ以上のサービスまたはドライバがシステム起動時にエラーになりました。

詳しくはイベントビューアを使用してイベントログを確認してください。」

このときイベントログに「システム接続されたデバイスが機能していません。」という内容のエラーが記録されます。

このエラーメッセージを表示させないようにするためにには、Service Pack6a を再インストールしてください。

## Windows NT での省電力モード

Windows NT では、省電力モードをサポートしていません。

## 光磁気ディスクドライブ増設時の留意事項

光磁気ディスクドライブを増設した場合は、SCSI ドライバがインストールされていることを確認した後、「光磁気ディスクドライバ」でドライブの割り当てを行ってください。「光磁気ディスクドライバ」については、「ドライバーズ CD」内の「\Nt4\Moformat\Readme.txt」をご覧ください。

## スーパーフロッピー形式の光磁気ディスク

SCSI カードなどに添付されているフォーマッタを使用して、光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットした場合、Windows NT で認識できないことがあります。光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットする場合は、「光磁気ディスクドライバ」を使用してください (→ P.61)。

## ネットワーク使用時の留意事項

オプションの LAN カードを、2 枚以上使用したネットワーク運用は、本ワークステーションではサポートしておりません。

## LAN の設定を変更する

LAN の設定を変更する場合は、Windows NT を再起動後、使用環境に合わせて変更してください。また、LAN の設定を変更するには、LAN ケーブルが接続されている必要があります。設定する値については、ネットワーク管理者にご確認ください。

### ■ ハブユニットの Link ランプが点灯しない、通信できない、通信が異常に遅い場合

ハブユニットの仕様や設定に合わせてアダプタの設定を変更してください。

Intel(R) PROSet で「Speed」と「Duplex」、または「Link Speed & Duplex」を「Auto Detect」からハブユニットに合った通信速度に変更してください。

### ○ 重要

- ▶ Intel(R) PROSet 起動前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。
- ▶ Intel(R) PROSet の「Support」タブは使用できません。

**1** 「コントロールパネル」ウィンドウの「Intel(R) PROSet」アイコンをダブルクリックします。

**2** 「Advanced」タブの「Setting」で変更する項目をクリックし、「Value」に値を指定します。

- Link Speed & Duplex :「Setting」の「Link Speed & Duplex」をクリックし、「Value」から通信速度／通信方式を指定します。

100Mbps/Full Duplex … 100Mbps の速度で、「送信」「受信」に専用のラインを使用して同時に通信を行います。

100Mbps/Half Duplex … 100Mbps の速度で、「送信」「受信」別々に通信を行います。

10Mbps/Full Duplex … 10Mbps で通信を行い、「送信」「受信」に専用のラインを使用して同時に通信を行います。

10Mbps/Half Duplex … 10Mbps の速度で、「送信」「受信」別々に通信を行います。

Auto Detect …ハブユニットと通信を行い、「通信速度」「通信方式」を自動的に決定します。

### ○ POINT

- ▶ 全二重モードに設定する場合、ハブユニット側も全二重モードに設定する必要があります。

### ■ ローカルアドレス

ローカルアドレスを使用する場合は、Intel(R) PROSet の「Advanced」タブの「Setting」で「Locally Administered Address」を変更してください。

#### ● 重要

- ▶ Intel(R) PROSet 起動前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。
- ▶ Intel(R) PROSet の「Support」タブは使用できません。

**1** 「コントロールパネル」ウィンドウの「Intel(R) PROSet」アイコンをダブルクリックします。

**2** 「Advanced」タブの「Setting」で「Locally Administered Address」をクリックし、「Value」に値を指定します。

「Value」には、「02」で始まる 16 進 12 衔を入力してください。グローバルアドレスに戻したい場合は「Restore Default」をクリックしてください。

## プリンタ関連の留意事項

### ■ FMLBP シリーズ、FMPR シリーズをお使いの場合

デバイスフォントの白色を使用した場合、印刷結果が画面と異なる場合があります。白色で印刷する場合は、デバイスフォント以外で印刷してください。

### ■ FMLBP225PS、FMLBP211PSをお使いの場合

- 「ドキュメント」ダイアログボックスの「ドキュメントのオプション」内の「プリンタの機能」にある「標準に戻す」は機能しません（クリックしても、変更前の設定状態には戻りません）。
- 「ドキュメント」ダイアログボックスの「ハーフトーンカラーの調整」で「明るさ」や「コントラスト」などを調整しても、印刷には反映されません。
- 用紙の種類を「A4 横」のような「××横」に設定しても、正しく印刷できません。このようなデータを印刷する場合は、用紙の種類で「A4」印刷の向きを「横」のようにして印刷してください。

### ■ 任意の用紙サイズを設定する場合

富士通 FM シリーズ用シリアルプリンタでフォームを使用する場合、使用できるフォームのサイズはそれぞれのドライバによって次の範囲となっています。この範囲外のものは使用できません。なお、下記のシリアルプリンタのすべてについて動作を保証するものではありません。

#### ● 用紙サイズの設定

プリンタの「ファイル」メニュー→「サーバのプロパティ」の順にクリックし、「用紙」タブの「新しい用紙を作成する」をチェックして作成します。任意の用紙サイズを設定できます。

詳細については、Windows NT のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。

幅: 50 ~ 345.4mm (1.79 ~ 13.6 インチ) 高さ: 50 ~ 420.0mm (1.79 ~ 16.5 インチ) のドライバ  
(136 桁プリンタ)

「FUJITSU FMPR 180」	「FUJITSU FMPR 180 (Color)」
「FUJITSU FMPR-353G2」	「FUJITSU FMPR-353A2」
「FUJITSU FMPR-361」	「FUJITSU FMPR-372」
「FUJITSU FMPR-671」	「FUJITSU FMPR-654」
「FUJITSU FMPR-359F1」	「FUJITSU FMPR-455」
「FUJITSU FMPR-456」	「FUJITSU FMPR-371A」
「FUJITSU FMPR-374」	「FUJITSU FMPR-366 (Monochrome)」
「FUJITSU FMPR-373 (Color)」	「FUJITSU FMPR-366 (Color)」
「FUJITSU FMLP-351」	「FUJITSU FMPR-373 (Monochrome)」
「FUJITSU FMPR-672」	

幅: 50 ~ 203.2mm (1.79 ~ 8 インチ) 高さ: 50 ~ 420.0mm (1.79 ~ 16.5 インチ) のドライバ  
(80 桁プリンタ)

「FUJITSU FMPR-302G2」	「FUJITSU FMPR-302A2」
「FUJITSU FMPR-204B」	「FUJITSU FMPR-204W」
「FUJITSU FMPR-101W」	「FUJITSU FMPR-101B」
「FUJITSU FMPR-102G」	「FUJITSU FMPR-601」
「FUJITSU FMPR-303G」	「FUJITSU FMJP-101G」
「FUJITSU FMPR-221G」	

幅: 50 ~ 420.0mm (1.79 ~ 16.5 インチ) 高さ: 50 ~ 420.0mm (1.79 ~ 16.5 インチ) のドライバ  
(136 桁プリンタ)

「FUJITSU FMPR 360」	「FUJITSU FMPR 360 (Color)」
「FUJITSU FMJP-211」	

幅: 25.4 ~ 345.4mm (1 ~ 13.6 インチ) 高さ: 25.4 ~ 558.8mm (1 ~ 22 インチ) のドライバ  
(ESC/P シーケンス)

「FUJITSU ESC/P」	「FUJITSU FMPR-375E」
「FUJITSU FMLP-371E」	「FUJITSU FMP-PR121G」

## キーボード関連の留意事項

### ■ 起動時のキーボード入力

Windows NT 起動時にキーボードから入力を行うと、イベントビューアに「ソース：i8042prt/イベント ID：19」のエラーが記載されることがあります。しかし、本ワークステーションを使用するうえで問題はありません。

## CD-ROM の取り出し

CD-ROM ドライブの EJECT ボタンを押しても、CD-ROM が取り出せないことがあります。その場合は、次の手順で CD-ROM を取り出してください。

- 1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- 2 CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックし、「取り出し」をクリックします。

## FM Advisor の CPU 情報表示

FM Advisor の「CPU 情報」の表示において、CPU 名・CPU クロックが正しく表示されない場合があります。あらかじめご了承ください。

## 日本語入力システムが 2 つ以上組み込まれている場合

MS-IME97 以外の日本語入力システムが組み込まれている場合、一度ログオフしてから再度ログオンすると、画面に日本語入力システムのツールバーが 2 つ表示されることがあります。標準に設定されていない日本語入力システム（【漢字】キーを押しても、アクティブにならない）を操作しなければ問題ありませんが、操作を行った場合、画面上にウィンドウの跡が残ることがあります。この場合は、Windows NT を再起動してください。

## 2 ファイルシステムの変換

本ワークステーションのハードディスク上のシステムドライブは、FAT ファイルシステムでフォーマットされています。FAT から NTFS に変換することで、セキュリティや信頼性を強化できます。ファイルシステムを NTFS に変換する方法は、次のとおりです。

### POINT

- ▶ NTFS に変換した場合、Windows NT 4.0、Windows 2000 以外のオペレーティングシステムからは、そのパーティションのファイルにアクセスできなくなります。

	Windows NT 4.0		Windows 2000	Windows 98	Windows 95 OSR2 以降
	Service Pack4 以降	Service Pack3 以前			
Windows NT の NTFS	○	○	○	×	×
Windows 2000 の NTFS	○	×	○	×	×
FAT32	×	×	○	○	○
FAT16	○	○	○	○	○

- ▶ すでに作成されているショートカットから、アプリケーションが起動できなくなる場合があります。このときは、ショートカットを削除し、再度作成してください。

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。  
「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。
- 3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

`convert n: /fs:ntfs /v`

(n には、ファイルシステムを変換するドライブ名を指定します)  
ブートパーティションを変換する場合は、次のメッセージが表示されます（ブートパーティションが C ドライブの場合）。

「ファイルシステムの種類は FAT です。

CONVERT で C: ドライブへの排他的アクセスを実行できないため、現時点では変換できません。次回のシステム再起動時にドライブの変換をスケジュールしますか (Y/N)?」

- 4 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押したあと、Windows NT を再起動します。  
このとき、Windows NT は 2 回再起動します。

Memo

---

# 索引

## A

- Acrobat Reader ..... 17, 68  
　　ーのインストール ..... 54

## C

- CD-ROM の取り出し ..... 76

## D

- DAT ドライバのインストール ..... 49  
Desk View ..... 18  
DMA の設定 ..... 51

## F

- FAT ..... 19, 77  
FM Advisor ..... 63  
　　ーの CPU 情報表示 ..... 76  
　　ーのインストール ..... 54  
FM-Menu ..... 18  
　　ーのインストール ..... 55

## I

- Internet Explorer 5.01 ..... 17  
　　ーのインストール ..... 54  
　　ーの留意事項 ..... 71

## L

- LAN  
　　ー ドライバのインストール ..... 40, 48  
　　ー の設定 ..... 73

## M

- MODEL ..... 65  
MS-IME98 ..... 18  
　　ーのインストール ..... 55

## N

- NIFTY MANAGER ..... 18  
　　ーのインストール ..... 56  
NTFS ..... 19, 77

- NumLock ..... 61

## P

- Power Management for Windows  
(PMAN) ..... 18, 30  
　　ーのインストール ..... 56

## Q

- Q&A ..... 60

## S

- SCSI ドライバのインストール ..... 40

## T

- TCP/IP プロトコルの追加 ..... 29

## U

- Ultra DMA/66 ..... 19  
Ultra DMA の設定 ..... 51

## V

- VirusScan ..... 18, 22  
　　ーのインストール ..... 57

## W

- WindowsNT ..... 17  
　　ー Service Pack6a の  
　　ー インストール ..... 50  
　　ー Service Pack6a の留意事項 ..... 70  
　　ー セットアップ ..... 10

- Windows 環境調査ツール  
(FM Advisor) ..... 17

## あ

- 色数 ..... 25, 27

## か

- 解像度 ..... 25, 27  
カスタムメイド型番 ..... 65

画面の設定	25	光磁気ディスクドライバ	18, 61
キーボード		ーのインストール	49
ーの留意事項	76	ファイルシステム	19
機種名	65	ファイルシステムの変換	77
コンピュータウイルス	22	プリンタ	
ーの被害届け	23	ーの追加方法	60
ーを発見した場合	23	ーの留意事項	74
<b>さ</b>		プレインストールソフト	17
サウンドドライバの		<b>ま</b>	
インストール	40, 48	モデムの追加方法	62
自動ログオン	63	<b>や</b>	
使用許諾契約	10	ユーザー登録	14
省電力モード	72	<b>ら</b>	
情報サービス	65	リカバリ	34
情報処理振興事業協会	23	ー CD-ROM 起動ディスクの	
シリアルケーブル接続	62	コピー	15
スーパーフロッピー形式の		連絡先	65
光磁気ディスク	72		
<b>た</b>			
ダイヤルアップ接続	72		
他の OS	68		
ディスクアドミニストレータ	69		
ディスプレイ			
ー ドライバの			
インストール	40, 42, 44		
電源切断用 HAL	17		
添付ソフト	18		
ドライブ構成	19		
トラブル	60		
<b>な</b>			
ネットワーク			
ー 使用時の留意事項	72		
ー の設定	29		
<b>は</b>			
はじめよう！インターネット			
(@nifty)	18		
ー のインストール	55		
パスワード	62, 63		
光磁気ディスク			
ー ドライブをスーパーフロッピー			
形式で使用する	61		

Memo

## 使用許諾契約書

このたびは、富士通株式会社（以下弊社といいます）製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

弊社では、本ワークステーションにインストール、もしくは添付されているソフトウェアのうち、弊社が取り扱うソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを条件とさせていただいております。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で本契約に同意していただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただけますようお願い申しあげます。

ただし、本ソフトウェアのうちの特定のソフトウェアに関する「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

## ソフトウェアの使用条件

### 1 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は本ソフトウェアを、日本国内において同時に1台のコンピュータでのみ使用できます。

なお、お客様は本ワークステーションのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属します。

### 2 バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1式の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

### 3 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合にはお客様はマニュアル等に記載されている要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

### 4 複製

(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。

本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。

ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。

(2) 前号「(1)」によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、お客様は本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

### 5 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェアを第三者へ譲渡する場合には、お客様が保有する本ソフトウェアの複製物のすべてを破棄するか、本ソフトウェアとともに第三者に譲渡してください。

### 6 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルを伴うリバースエンジニアリングを行うことはできません。

### 7 アフターサービス（保証の範囲）

(1) 弊社は、お客様が「ユーザー登録カード」を弊社宛にご返送いただいた場合に限り、本ワークステーションをご購入いただいた日から1年間、本ソフトウェアの改訂版（レベルアップ）に関する情報等をお知らせいたします。

(2) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して、弊社が必要と判断した情報を提供いたします。

また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合は、本ワークステーションをご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。

(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）、（2）および（3）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

(4) 弊社は、前各号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中止、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に關しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。

なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件にしたがい取り扱われるものとします。

---

CELSIUS 440/460/650

ソフトウェアガイド  
Windows NT  
P3F1-0530-01

発行日 2000年12月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

---

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

